



2026年5月12日

各位

会社名 双葉電子工業株式会社
代表者 代表取締役 有馬 資明
社長執行役員
(コード番号 6986 東証プライム)
問合せ先 執行役員 石川 浩士
業務管理本部長
TEL 0475 (24) 1111

通期連結業績予想と実績との差異、 営業外収益および特別損失の計上に関するお知らせ

2025年11月11日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、営業外収益および特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績数値との差異について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績数値との差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,800	△1,600	△1,000	1,900	44.79
実績値 (B)	42,982	△2,280	△683	2,522	59.48
増減額 (B-A)	182	△680	316	622	—
増減率 (%)	0.4	—	—	32.8	—
(ご参考)前期実績 (C) (2025年3月期)	48,116	△1,292	△206	△281	△6.63
増減額 (B-C)	△5,134	△988	△477	2,804	—
増減率 (%)	△10.7	—	—	—	—

(2) 差異の理由

【営業利益の悪化要因】

売上高はほぼ想定通りだったものの、品種構成の悪化や在庫関連損益の悪化などにより、営業利益は前回予想値を下回る結果となりました。

【経常利益の良化要因】

営業利益の赤字幅が拡大した一方で、第3四半期連結会計期間以降の為替レートが当社想定の上米ドルあたり150円に対して160円と円安となり多額の為替差益を計上したことなどから、経常利益は前回予想値を上回る結果となりました。

【親会社株主に帰属する当期純利益の増加要因】

経常利益の赤字幅が縮小し、シンガポール子会社の清算終了に伴い、為替換算調整勘定の取り崩しによる関係会社清算益を計上したことに加え、固定資産売却益の計上額が想定より増加したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を上回る結果となりました。

2. 営業外収益の内容

(1) 受取利息

当第4四半期連結会計期間において、当社および連結子会社の銀行預金利息等の受け取りにより、178百万円を受取利息として営業外収益に計上いたしました。

(2) 為替差益

当第4四半期連結会計期間において、為替相場の変動により、281百万円を為替差益として営業外収益に計上いたしました。

3. 特別損失の内容

当第4四半期連結会計期間において、電子機器事業および生産器材事業における事業環境および今後の見通しを勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討いたしました。その結果、固定資産の一部について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、154百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

以 上